

丹後 TANGO 普及センターだより

第34号

(令和5年2月発行)

〒627-8570

京都府京丹後市峰山町丹波 855

京都府丹後広域振興局農林商工部

丹後農業改良普及センター

電話 (0772) 62-4308

FAX (0772) 62-5894

丹後普及センター

検索



産地拡大が期待される
加工用かんしょの生産支援

国営開発農地の加工用かんしょは平成27年から導入され、令和4年産は1.67haで栽培されました。近年「干し芋」のブームが追い風となり、丹後産かんしょに対する実需者からの要望は高く、令和10年までに300t規模の産地となることが期待され、作れば作るほど売れる情勢です。

しかし、低単収等の課題があり、今後産地として発展するためにはこれらの課題を解決する必要があります。そこで、普及センターでは昨年度から、新規栽培向け現地講習会を開催したり、獣害対策、害虫防除等の技術情報を発行し、適期作業の呼びかけを行ってきました。

今後は、単収増加だけでなく品質向上に関しても関係機関と連携しながら、生産者の所得向上と産地振興の伴走支援をしています。



一宮津の伝統品目を 守っていききたい

私は京都市内の大学を卒業後、同市内で就職しました。結婚を機に妻の実家が近い地域に引っ越し、担い手養成実践農場での2年間の研修を経て、平成26年に宮津市の波路で就農しました。

現在は7棟のハウスと70aの露地でやまのいも、しょうが、イチゴ、宮津太ネギ、九条ネギ、キュウリを栽培しており、農協や地元のスーパー、学校給食等に出荷しています。

年々地域農業の担い手が減少していく中で、「宮津の伝統品目を守りたい」と考えており、最近はやまのいもやしょうがの栽培に力を入れています。また、地元小学校の農作業体験等も請け負っており、「今の子ども達に農業について知ってもらって、農家にならなくてもいつか農業に関連する職業が将来の選択肢になってくれれば」と思っています。

自分が農業生産に尽力できるのは、気にかけてくれる地域の住民の協力があるからこそです。今後とも地域の人たちと協力して農業をやっていききたいです。



〈宮津市〉久保添 公哉さん

一みんなと一緒にかんしょ産地を 盛り上げていききたい

大学院卒業後に茨城県の農業法人に就職し、そこではジャガイモの栽培と米、麦、そばの収穫後の調製作業を担当しました。そのうち、栽培計画を自分で立て、作りたい品目をは種から収穫まで行いたいという想いが強くなってきたため、独立を決心しました。

丹後農業実践型学舎での2年間の研修を経て、平成31年に峰山町五箇の国営開発農地に就農しました。現在はかんしょ1.8ha、カボチャ1.8ha、キャベツ1.6haの他、ジャガイモ、ニンジン等を栽培しています。就農当初にピーマンを栽培しましたが、団地で自分が使える水が足りず目標収量に達せられなかったり、他の品目との労働時間の配分を間違ったりしました。このように実際に作業をしてみても分かるいろいろな問題に苦労しましたが、試行錯誤の末今の経営品目に落ち着きました。

就農して4年目の今、積極的に機械投資して、効率の良い経営を目指す時期だと考えています。農業用ドローンに関心があり、自身の経営に導入できないかを検討しているところです。かんしょはこれから伸びる品目と思っており、当面かんしょを生産の柱にしていこうつもりです。できれば一緒に栽培する栽培者がいれば、協力して産地として盛り上げていききたいです。



〈京丹後市〉竹田 克寛さん

一みず菜を誰もが 栽培できる品目に一

京都市出身で会社員でした。筒川そば祭りのチラシを見て初めて伊根町を訪れ、料理の美味しさと景色に魅了されました。「自分たちで野菜を作りたい」と思い、12年前に伊根町本庄地域に移住しました。主にみず菜の周年栽培から始め、今はビーツ栽培にも取り組んでいます。

就農直後は、芽が出ない、株が太らない、草丈が伸びないなどの問題に直面しました。台風で土砂やゴミがハウスに流れ込んで栽培も出荷もできないときが、一番苦しかったです。そんなとき普及センターから栽培指導、復興支援をいただき、今も農業に従事しています。今ではみず菜を安定して栽培できるようになり、就農直後の誰もが栽培できるように技術を確立することが目標です。

ビーツは、赤ビールやチョコレートなどの加工品原料として栽培しています。加工品を通じてビーツがメジャーになってほしいです。

今後は農家民宿を開業予定です。歌手に歌ってもらったり、ヨガ教室を開いたりして、地域の子供から大人までが楽しめる催しを考えています。農家民宿は伊根町外からたくさん泊まりに来てほしいです。



〈伊根町〉川村 厚志さん

一若い人を育成し独立させ 地域の後継者に一

私は子供の頃から農業を手伝っていたので、職業としては選択したくないと思ってきました。しかし、高校卒業後2年間会社勤めをしましたが退職。次の仕事のためとりあえず実家に帰っていたところ、当時任意団体であった誠武農園の共同代表であった父から「手伝え」と言われ、八幡市での1年の研修を経て1997年に就農しました。2001年に法人化した(有)誠武農園の役員となりました。

主な品目は、水稲26ha、作業受託5ha、露地は枝豆1.2ha、ネギ40aなど、ハウスは35棟(90a)で九条ねぎ、きゅうり、小松菜などです。赤カブの漬け物などの農産加工を行い、2014年から野菜の乾燥工場も稼働しています。令和元年に代表取締役となりました。従業員が能力を発揮できるよう配慮することが私の役割と考えています。また、研修生の受入れを今後も継続し、そのまま自社雇用したり、地域での就農を定着させていきたいです。



〈与謝野町〉
(有)誠武農園 西川 忠宏さん

野菜栽培における堆肥 (牛ふん・鶏ふん)活用実証



肥料価格が高騰する中、堆肥(牛ふん・鶏ふん)の活用が注目されています。

そこで、真砂土で土づくりが重要な国営開発農地において、牛ふん堆肥と鶏ふん堆肥を活用したブロッコリー減化学肥料栽培の実証を行いました。

<牛ふん堆肥>

肥料効果は小さいが、物理性改良などの土づくり効果が高い。カリを多く含むため多量施用はカリ減肥が必要。

<鶏ふん堆肥>

窒素、リン酸、石灰などの肥料成分を多く含むため、化学肥料の代替利用が狙える。

ポイント

- 堆肥(基肥)の緩やかな肥効を補うため、化学肥料を早期に追肥して初期生育をしっかりと確保。
- 堆肥散布は大規模酪農業者(中丹)の有償散布サービスを活用(フレコンで運搬)。
- 鶏ふん堆肥も養鶏業者(丹後)がフレコンで用意することで、上記散布サービスで同時に散布。



フレコン運搬



散布の様子

栽培の流れ



結果

◎鶏ふん堆肥で基肥代を節約、同等の収穫量を確保できました(表1)。

◎牛ふん堆肥を含むこの施肥体系を毎年続けることで、地力の維持・向上が期待されます。

表1 施肥設計と経費比較(※両区とも追肥は2回分の合計)

区分	肥料名	10a当たり	
		肥料量	肥料代(およそ)
慣行区	(基肥)苦土石灰	100kg	4,000円
	(基+追)ホウ素入り化成 302	135kg	30,000円
34,000円			
堆肥 活用区	(基肥)苦土石灰	100kg	4,000円
	(基肥)牛ふん堆肥	1,000kg	10,000円
	(基肥)鶏ふん堆肥	300kg	7,500円
	(追肥)ホウ素入り化成 302	35kg	7,500円
21,500円			



(左)化学肥料区、(右)堆肥区

留意点

1. 生育期間が長く追肥を行う葉菜類(キャベツ等)も同様の考え方が応用できます。
2. 根菜類(ダイコン、ニンジン等)には、根の生育障害防止のため、堆肥施用と作付けまでの期間を1か月程度空けます。
3. 堆肥のチッソ肥効率は2割(牛ふん堆肥)～7割(鶏ふん堆肥)と低いことを考慮します。

堆肥散布に関するお問い合わせ先

ビッグ ツリー ファーム

(有)BIG TREE FARM

住所：綾部市佃町野林2番地の2

電話：090-5973-2771(担当 石田)

生産原価を調べてみましょう



個人経営の
事業者向け

生産原価とは、費用全体の内の収穫・調製までに投下した費用に、自家労賃見積額を加えた額を言います。包装や販売、経営管理の費用は含めません。

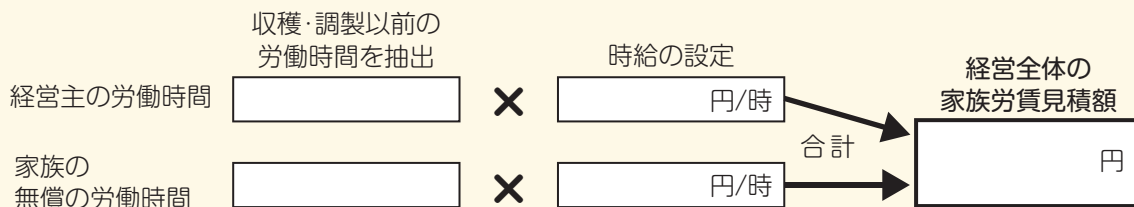
生産原価を数量で割り算すると、出荷単位当たりの生産原価を把握できます。販売単価設定の参考となり、市場価格との差額も意識できます。これを口に出せるようになると良いですね。



玄米1袋、キャベツ1玉の
生産原価はいくら？

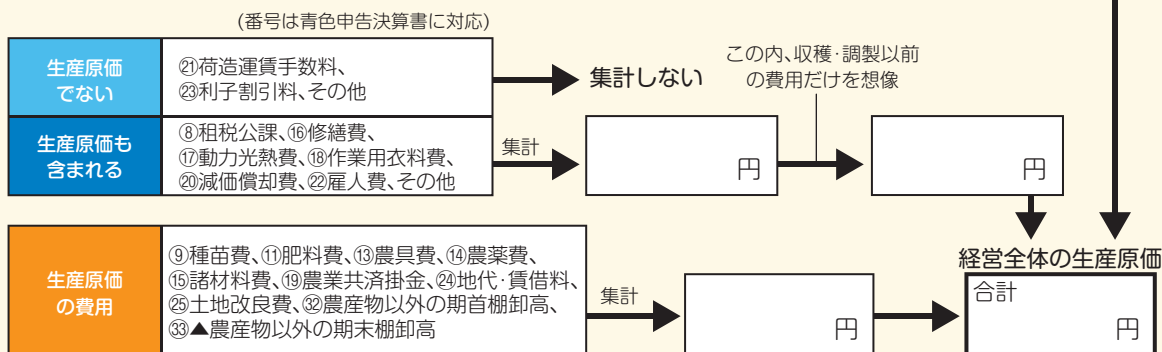
Step 1 無償の家族労賃見積

経営主を含む家族労働見積を省略すると、ただ働きの生産原価となります。



Step 2 経営全体の生産原価

損益計算書の費用から調製の以前の金額だけを抽出します。ただし、調製の以前も以降も両方含む費目もあるので、以降分は除外しなければなりません。



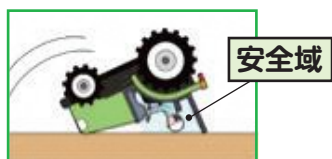
Step 3 品目別・出荷単位当たりの生産原価

Step 1、2 を品目別に案分し、出荷数量で割り算すれば、出荷単位(kg等)当たりの生産原価がわかります。この値は販売単価設定等の参考となるので非常に重要ですが、品目が多ければ多いほど案分が困難となります。

機械の転倒・転落による事故を防ぎましょう！

2022年は、丹後管内で田植え機乗車中の転落事故が2件発生し、1名が命を落とす事故が発生しました。全国的に見ても、農作業による死亡事故は機械からの転落・転倒が最も多くなっています。

春に機械作業を再開しますが、作業前に機械の使い方を確認し、ほ場周辺に危険な箇所がないかをチェックしてください。



✓ 機械は安全に使えていますか？

- ▶ トラクター乗車中は安全フレームを立て、かつシートベルトを締めて、安全域に体を固定する。
- ▶ 田植機で坂道を上り下りするときは、必ずバックで走行する。

✓ このような場所が危険です！

- ▶ 草に隠れて、路肩の崩れが見えない。
- ▶ ほ場への進入路が狭い、又は傾斜が急になっている。

対策 ポールや標識、草刈りで路肩に見える化

農業士のご紹介

新任 よろしくお申しします

- 指導農業士 溝口 喜順さん(宮津市)
指導農業士 青木 美恵さん(京丹後市大宮町)
指導農業士 長谷部 剛さん(京丹後市弥栄町)
青年農業士 西垣 辰則さん(京丹後市久美浜町)
青年農業士 二ノ宮 大地さん(京丹後市弥栄町)

退任 長い間ありがとうございました

- 指導農業士 和久田 智司さん(宮津市)
指導農業士 小幡 惠津男さん(京丹後市大宮町)
指導農業士 今井 一さん(京丹後市弥栄町)
青年農業士 今井 真也さん(京丹後市大宮町)
青年農業士 大江 健人さん(京丹後市丹後町)

お近くの農業士に相談してみませんか？

栽培や売り方を
相談したいなあ



身の回りに聞ける
相手がいないなあ



農業士は、農業後継者の育成や地域農業の振興、農村地域の活性化に寄与することを目的として活動に取り組んでいます。丹後管内に35人の農業士がいます。

わたしたちは地域の農業者さんの困りごとをお聞きして、解決のお手伝いをしたいと願っています。



農業士

相談事はわたしたちへ
どうぞ！

【問い合わせ先】

事務局(丹後農業改良普及センター)
農業士担当 0772-62-4308



京都府丹後地域農業士会
Facebook